

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report

8

2017 No.755

3 はじめの言葉

4 組織内人材育成を忘れ

深刻化する労働環境

田原文夫

企業は人なり、とは常套句中の常套句である。企業とは限らない。国家機関だろうが、民間組織だろうが、組織の種類を問わない。それだけに、家庭教育、学校教育、組織内教育さらには社会的教育など、あらゆる機会の教育制度／システムが注目されている。しかし、いつの間にか組織内教育の意味すら認識されない状況に陥っているようだ。たとえば、様々な職場におけるパワハラ現象、過酷な残業状態など、およそ人材育成の現場だとは思えない労働環境が蔓延しているのも確かだ。一方では、丸投げアウトソーシングという労働形態が進み、必要な人材は組織外に存在するという、もうひとつの深刻な労働環境も浮かび上がっている。

10 情報社会を考える その83

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

隣国中国の大矛盾

何度も指摘してきたことだが、情報社会の要諦は情報公開にある。つまりは政府と国民による情報共有である。情報は力である。情報を独占することは独裁政治となる。民主主義政治すなわち民を主とする政治においては、情報の独占は絶対にあってはならない暴挙である。情報社会とは、情報システムテクノロジー（IT）が駆使されている装置システム社会ではないのだ。しかるに現政権は、その根本的思想性に欠如しているようだ。隣国中国の有り様を見るべきだ。民主主義を極度に恐れ、すべての権力を独占することでやっと国家体制を持ちこたえている。すなわち情報独占をすることで一党独裁を成立させている。その異常さは、民主主義の真逆を指向する政治形態にある。情報社会は、ローカルな一國単位、リージョナルな国家群という単位でなく、文字通りグローバルな全世界規模で形成されているものである。

12 オープンガバメント OG 44

情報社会をすすめる

その78

水田 浩

1990年代に紙によるワークフローをデジタルにして、メインフレームと端末を使って事務系、技術系で個別に行われるようになり、1995年代にはインターネットが世界中で使えるようになってきた。そして、個別に開発されたシステムをより早く、より安く、より良くつかうために製品やシステムのライフサイクル全体の統合化を模索するようになっていた。そして、産業別、国別のシステムとデータを世界共通にしてより生産性の高いビジネスをするために、世界共通の情報基盤を作らなければならないという認識が世界中

で起こっていた。そこで、CALS の一つの製品、システム、サービスを全ライフサイクルで、「情報は一度つくって、幾度も使う」という運動は世界規模で受け入れられた。一つの CALS という概念（言葉）で 1995 年から 2005 年に掛けて世界中が一つになって運動を起こすようになった。

1 8 連載 アーキテクチャ論 (76)

IoT サービスプラットフォームの課題

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 情報連携統括本部 情報戦略室 教授

前回導入が活発化してきた IoT ミドルウェアの動向と今後の留意点について紹介した。今回は、現状の IoT サービスの開発が個別的であり、オープンな IoT サービスプラットフォームのためのアーキテクチャが必要であることを指摘する。次いで、IoT サービスのためのオープンプラットフォーム参照アーキテクチャを紹介する。また、その実現に向けた技術面ならびに社会面の課題とその対策について述べる。

2 7 連載 日本再生と人材育成

人口減少／少子高齢化時代への挑戦 その3 1

人材フル発揮のための就職/転職のステップとポイント Dr.ベスト

日本の人口減少/少子高齢化時代の原点にもどると、この先一人ひとり極めて貴重な人材（人財）であり、その意思と能力をいかにフル発揮できる仕事に就き、その活動を通して最大限の成果が得られるような働く仕組みを準備・提供していくかが喫緊の課題であるといえよう。人口減少／少子高齢化時代において最も重要なことは、数少ない人材のほとんど全員が自分の意思と能力にマッチした仕事に就き、その意思と能力がフルに発揮されるような状態が実現できることである。

3 4 IT 新時代とパラダイム・シフト

第93回 動画配信サービスの最新事情

根本忠明

我が国で開始直後からアクセス急増のネット動画配信サービスがある。AbemaTV である。TV 放送の形式を踏襲しながら独自の切り口で、スマホなどに無料配信し、若者を魅了している。我が国の TV 視聴率は下がり続け、TV 離れが加速している一方で、ネット企業からの動画配信サービスが相次いでいる。日本より 10 年先に行く米国でも、新たな動きが始まっている。YouTubeTV や Vice といった動画配信サービスが、米国で注目を集めている。今回、日米で注目を集める最新の動画配信サービス事情について紹介する。

3 7 続インテリジェンスへのいざない 91

情報のやり取りと言動に対する責任

今井 武

記録がない、記憶がないの議論が言論の府「国会」を舞台にして大騒ぎになっている。人間が社会生活をする限り、情報が発生し、その情報をもとにした行動が起こる。行動の見直しが行われ、問題があれば是正し、新たな行動が起こる。行動／見直し／是正の段階で様々な情報が発生し責任問題も出てくる。情報の取り扱い方が難しい。

4 0 連載 四字熟語カトレーニング

すぎやまチヒロ

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介致します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス

定価 本体 2,810円+税 送料(〒300) A5版 289頁 石井 義典 著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 EUCが必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータウェアハウスサポート
第二章 データベースとデータウェアハウスの相違点	第八章 データウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータウェアハウス	第九章 データウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとホスト・リレーショナル・モデル	第十章 データウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正規化の問題点とデータウェアハウス	
第六章 データウェアハウス管理システム	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス
OLAP

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A5版 249頁 豊島一政・木村 哲 共著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEUCにできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構造
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A6版 181頁 田原文夫 著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意思決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの落とし穴

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A6版 197頁 一橋大学教授 安田 聖 監修 aism情報セキュリティ・マシナリ研究会 著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM/KEYの監視と検束記
第二章 aism情報セキュリティマシナリ研究会の歩み	第十二章 メールが漏れない
第三章 認知される電子署名方式の基本原則	第十三章 生体ネット運用のための情報オーナーの確保
第四章 世界を駆けめぐったOodeRedフォーム	第十四章 最近のインターネット防衛戦線心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2016年度の事業計画	第十八章 せわしりま「リサーチ」作成にあたってのメモ
第九章 情報セキュリティ研究の歩みと課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の情報システム革新

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A6版 271頁 高田 顯重 著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成長野原
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A6版 212頁 安田 聖 著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分割方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方格子のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計算方法	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの得広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,740円+税 送料(〒300) A5版 285頁 加藤 洋一 著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売れ文も企業体質
■ ニュースリリースは東方向送信	■ 守るも求めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例集」
■ 記事の材料(ネタ)と発掘のテクニック	<付> 監修とうまく付き合う十六の鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国際グローバルサーバー—
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,840円+税 送料(〒300) A5版 260頁 迫 忠幸・湯浅 誠 共著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 発端	第十一章 日本開発手法の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米軍チーム撤退の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たな仲間
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米軍軍務所移転と新たな組み
第五章 FJO, IBM競争	第十五章 開発フル稼働と1/10タツタ
第六章 日本プロジェクトチームの歩み	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本番稼働日誌
第八章 米軍チーム立ち上がりの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大昔な話、英蘭二国間コミュニケーション	第十九章 稼働その一 直前、稼働、直後の苦しみ
第十章 米軍チーム、闘となる三人組	第二十章 稼働その二 安定稼働と北米センター移設

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp